

# 東京都私立幼稚園協會の現状

東京都私立幼稚園協會理事 青柳美智代

「幼児の教育」編集部の求めにより、本協會の歩んだ道、また現在の状況などを發表させて頂くことにした。殊に私立幼稚園の今後の在り方の自覺と、全國的な統一連絡のために少しでも役立てば幸ひと思ふものである。

× × ×

去る昭和十六年頃には、東京都の私立幼稚園数は既に二百九十餘園が認可されてゐた。昭和初年には百餘園に過ぎなかつたものが十數年間に、三倍にも達する實に目覺しい發達をしたものである。更にその頃は、毎月五ヶ園位宛設立されつゝあつたから、東京都保育界に占める私立幼稚園の地位は數の上から、實に強大なものであつたのである。然し乍ら、この様に實に目覺しい發展をしてゐるのであつたが、各私立幼稚園は相互に全く連絡もなく、親睦の機關もなく、個々バラバラの存在であつて、今から考へると不思議な状態にあつたものである。嘗つて東京保育連合會と云ふ、團體のあることは聞いたが、その團體も有名無實と見えて、加盟してゐると云ふ幼稚園がない。従つて、この多數の私立幼稚園は、各々

獨自、各々好き勝手な道を歩んでゐると云ふのが、その頃の私立幼稚園界の状況であつたのである。

殊に幼稚園は傍系の教育機關であつたために監督の任にある東京都も、設立認可に際しては、相當面倒な規則を示して、指導監督をされてゐたが、一度認可して仕舞ふと、その後は全く、すて兒も同様、教育局の私立幼稚園名簿に園名を留めてゐるのが、云はゞ教育局と私立幼稚園との關係のやうなものとなつて過言ではない状態であつた。

× × ×

本協會は、斯うした私立幼稚園界の状況に對する、全體の不満とそして解決のために全私立幼稚園の協力を得て、昭和十七年九月に創立されたものである。その宣言文にも『私をはなれ、情實をすて、一致團結して明日の保育へ進み度い』と掲げてゐた。而して創立された私立幼稚園協會の初代会長には東京都の時の學務部長加藤初夫氏が推薦された。幸いにして東京都私立幼稚園三百餘は欣然として學つて加入され、保育の研究にまた充實に更に會員相互の親睦と提携

に、幾多の貴い事業足跡を残して来たものである。

而してその後戦争のため、その戦禍の苛烈になるに及んで、突如緊急措置命令と稱する『幼稚園休園命令』となり更に教育團體の統制のために、本協會の解散を命ぜられるなどのことのために、漸く誕生し、貴重な一致團結の機運が實を結ぶの時に際して、不幸な戦争のために、本協會の活動も中絶し、組織も終焉するの運命となつたのである。思へば幼稚園の休園措置など、不合理極まるものであつたが、あゝした處置を受けると云ふこと、そのことが既に幼稚園が團結力がなく、社會的に實力のない證據であつたことが、實に残念に思はれた。

終戦後、戦火のために七十餘園に激減してしまつた都私立幼稚園が、新たな構想のもとに、團結し發足したのが現在の私立幼稚園協會である。現在はその會員數も漸次増加して、百四十ヶ園に達し、益々増加し復興しつゝあることは實に喜ばしく思ふ。

協會の組織も民主的に改められた。東京都の十一區に各區保育部會を結成し、區部會を單位に理事を選出して理事會を組織し、執行部は理事會より選出すると云ふ組織になつてゐるため、會の運営は會員の意志によつて行はれるやうになつ

てゐる。また協會の理事會と各區保育部會は、直結して、活潑に運営されてゐる。

教育制度改革に依り、私立學校は自主的運営と云ふ劃期的な立場を與へられた。私立幼稚園は、今後この與へられた自主的立場を眞に理解し、最も有效適切に生かして行くことが大切であると思ふ。本協會の今後の使命も、任務も、この自主的運営の確立にあるやうに思ふ。

現在、東京都の私立幼稚園に對する行政面の連絡は、上述の線に添つて、殆んど本協會を通じてなされてゐる。本協會が、行政の代行機關のやうな役目を果してゐるのである。そのため謄寫版刷ながら、毎月大體四頁の會報を發行して、會員相互の連絡通達と各種の協會專業の計畫遂行のために紙面を用ひてゐる。その他講演會、講習會の開催、保育料の協定、教職員の特遇改善のため初任給の協定、配給、その他、事業は益々多く、また廣くなりつゝある、殊に日本私營團體總連合會に第五部（幼稚園）が設置されて、全國私立幼稚園團體連合會が加盟し、その事務局の仕事を、本協會が委託されてゐる現状では、到底片手間にては、本協會の事業は完全に遂行出来ないで専任の書記を常置の必要に迫られて、理事會に於て考慮されてゐる現状である。

本協會は、私立幼稚園のために、卒先して、そのもつ私立としての特色を生かし、その私立として〇理想と使命を達成するために、進んで行きたいと考へてゐる。

全國私立幼稚園團體聯合會、即ち日本私學團體聯合會第五部の性格や專業に就ては、同會報にて、報告されてゐるから、此處では觸れないでおく。若し同會報入用の方は、申越し願ひ度いと思ふ。日本私學としては、私立幼稚園のみが、全國的の實體を今以つて知ることが出来ないでゐる。そのため日本私學として甚だ不名譽に考へられる。就ては各府縣毎に私立幼稚園の連絡を是非共確立願ひ度いと思ふ。實體が不明なのでは、基礎となる資料がないから、すべての特典から除外される結果となるので誠に残念に思ふ。

× × ×

最後に本協會の活動方向の一面を示すものとして、九月二十日感應幼稚園において開催された協會主催の保育研究發表會の發表題目を掲げることとする。兎に角幼稚園界一般に缺けてゐるものは保育の科學的研究と、關係者の一致團結の精神である。幸ひに、全國保育連合會も誕生して、一致團結の精神だけは遅まき乍ら、胎動を初めたことは、他の教育團體の活潑なる動きの反映とはいへ、誠に喜ばしく思ふ。而して保育の研究は、遅々として進まないやうに思ふ。本協會の保育研究發表會はその一つの助長として役立つことを、念願として計畫されたものである。當日は三百八十餘名の参加會員があり、終日活潑なる研究發表と、質疑應答がかわされて實

に、有益な一日で會員一同に喜ばれたのである。

研究發表題目

イ、保育の實際

- |             |         |       |
|-------------|---------|-------|
| 夏期保育と保健     | 日本大學幼稚園 | 山田言惠  |
| 一日の保育プラン    | 成城幼稚園   | 彌富綾子  |
| 創作手技        | 日の丸幼稚園  | 平井貞子  |
| 自然觀察の一部     | 鶴の木幼稚園  | 加藤鏡子  |
| 幼稚園の壁新聞     | 聖美幼稚園   | 内山千枝子 |
| 私の思ふ良い子供の歌曲 | 靈南坂幼稚園  | 大中寅二  |

ロ、保育理論

- |                         |         |      |
|-------------------------|---------|------|
| 幼児の個人差に就て               | 聖心學園幼稚園 | 坂内みつ |
| 本園に於ける園児のメンタルテスト(知能と性格) | 清明學園幼児園 | 川添サラ |
| 園児の金遣ひに就て               | 感應幼稚園   | 田宮紀子 |
| 幼児と宗教                   | 共愛幼稚園   | 千葉光子 |
| 幼児の繪畫に於ける表現力            | ゆかり幼稚園  | 藤田復生 |
| 幼児の音楽に就て                | トモエ幼稚園  | 小林宗作 |
- ハ、經營  
 幼稚園の民主化  
 三鷹幼稚園 藤井七郎